

2009年5月12日

CSS Nite in OSAKA, Vol.15 : session1

知ってて得する「Dreamweaver」の勘どころ。

新しく CS4 が発売された『Dreamweaver』。しかし、多機能過ぎてフルに使えてない方も多いようです。デザイン・エディタ・管理・・・と超便利なソフトだけにもったいない！ということで、日頃スクールで教えている立場から、Dreamweaver の『知ってて得する』マニアックな機能をご紹介します。

▼今日のセミナーの POINT

- ・ DW おすすめの操作環境設定（環境設定／サイト定義／ファイルパネル）
- ・ DW で CSS レイアウトの手順（Div タグ挿入）
- ・ DW の CSS コード管理（CSS パネル／CSS ルール定義／コードナビゲータ）
- ・ テンプレートの利用（テンプレートのネスト、編集可能なタグ属性）

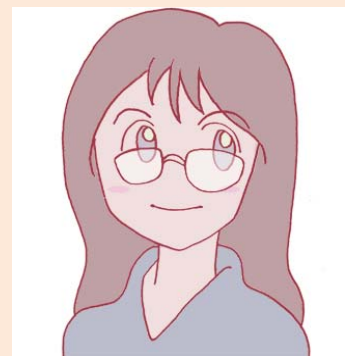
▼講師プロフィール

森 和恵 r360studio (<http://www.r360studio.com/>)

Dreamweaver MX 2004 ACI (Adobe 認定トレーナー)

フリーランスで活動する関西の Web 屋さん。企画・デザインから制作までをこなす。Web 系のセミナーの講師としても活動中。「難しいことでも、わかり易く伝える」がモットー。

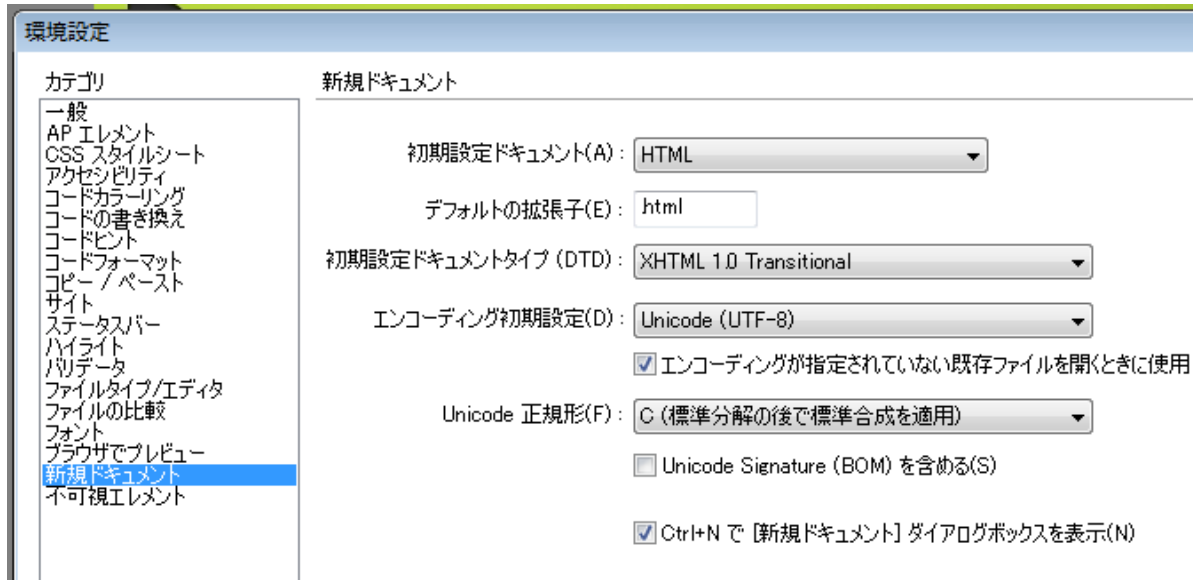
著書に、『Dreamweaver と Movable Type で作る テンプレートカスタマイズレッスン』（技術評論社）など。



▼おすすめの操作環境設定

[編集]-[環境設定]メニューで DW の操作環境を設定することができます。

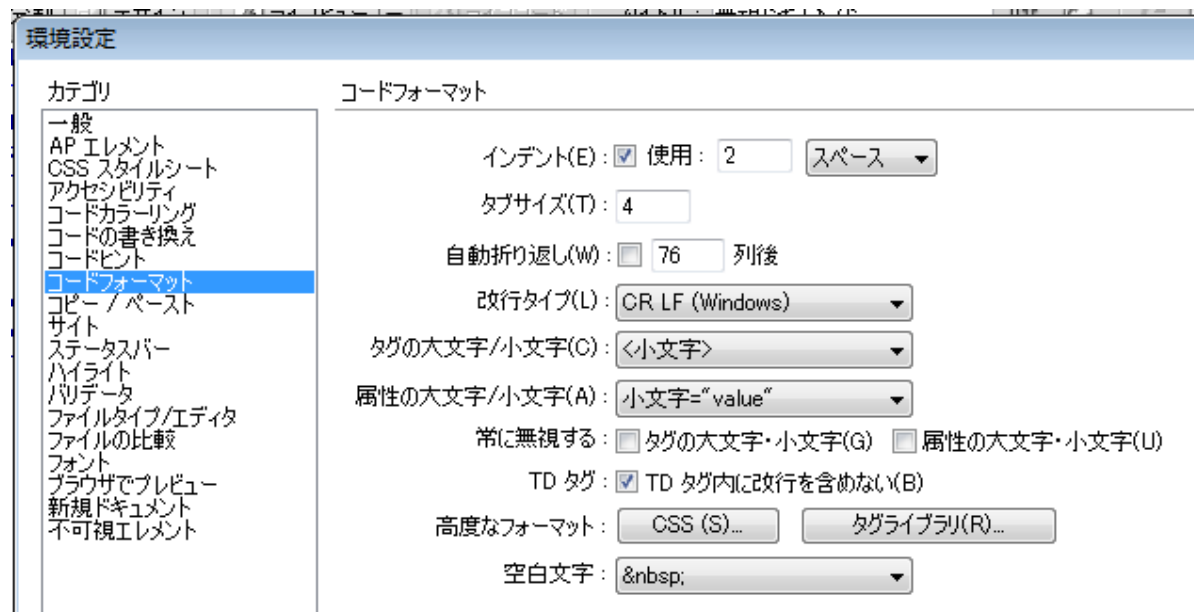
▼新規ドキュメント



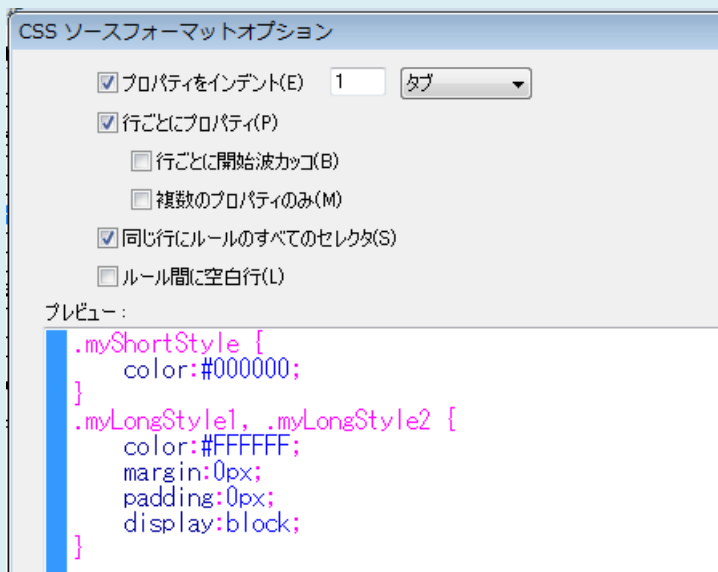
- ◇ [デフォルトの拡張子]で HTML ファイルの拡張子を指定
- ◇ [初期設定ドキュメントタイプ]で DOCTYPE 宣言を指定
 - ※初期設定では“XHTML1.0 Transitional”が使用されている。
 - ※後から変更する場合は、[ファイル]-[変換]メニューで。
- ◇ [エンコーディング初期設定]で文字コードを指定
 - ※CS3 から初期設定が“UTF-8”に
 - ※後から変更する場合は、ソースコードを直接書き換えて保存。

- ◇ [Ctrl+N で[新規ドキュメント]ダイアログ~]にチェックすると新規ファイルを素早く作成

▼コードフォーマット



- ◇ ソースコードのさまざまな指定を行うことができる。指定した後から反映するには、[コマンド]-[ソースフォーマットの適応]メニューを実行。
- ◇ [インデント]ではソースコードのインデントの有無やサイズについて指定。
- ◇ [CSS]ボタンから、CSS ソースの細かい指定を行える。



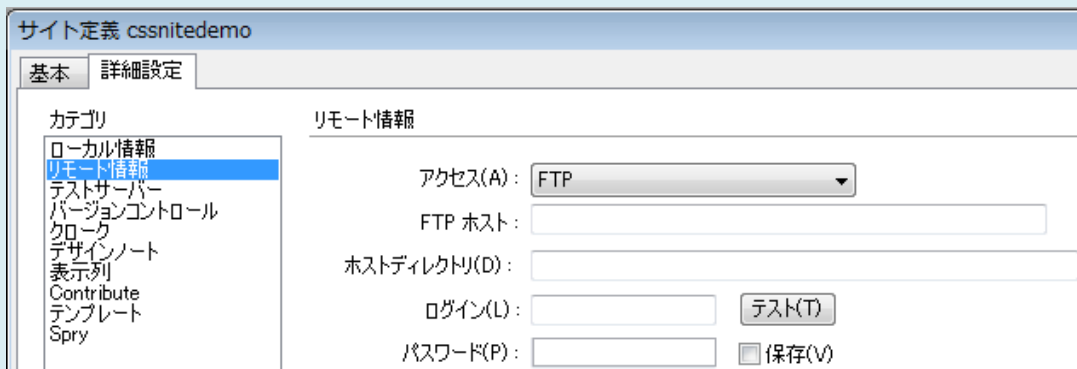
▼サイト定義

DW ではファイルパネルでファイル管理を行うために『サイト定義』を行う必要があります。

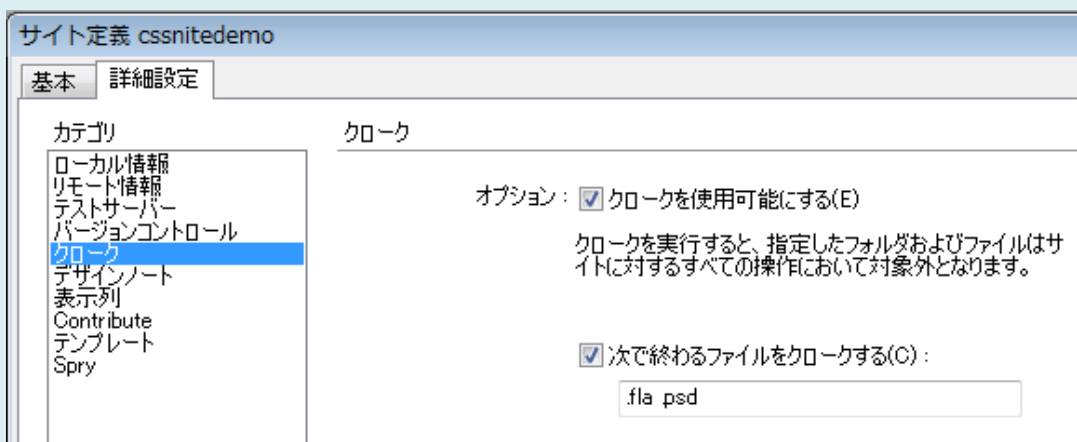
- ◇ [サイト]-[新規サイト]メニューでサイト定義を行う
- ◇ サイト定義では「ローカルサイト」（作業している PC 環境）を登録する



- ◇ サイト定義では「リモートサイト」（Web サーバーの環境）を登録する

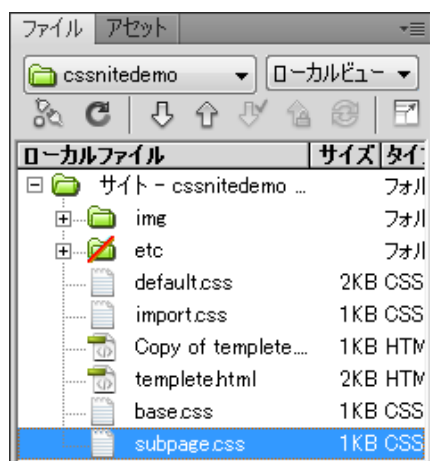


- ◇ 同時に「クローク」で Web サーバーへのアップロード制限を指定できる

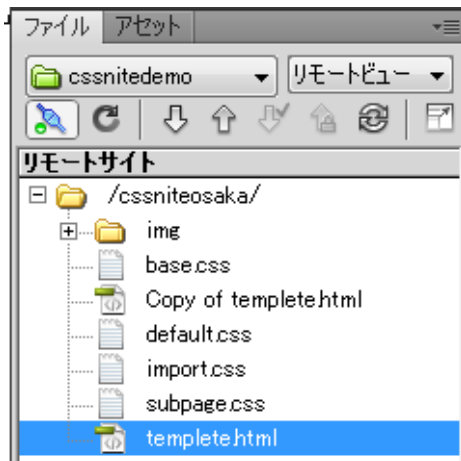


▼ファイルパネル

DWでは「ローカル」と「リモート」のファイル管理をファイルパネルで行います。

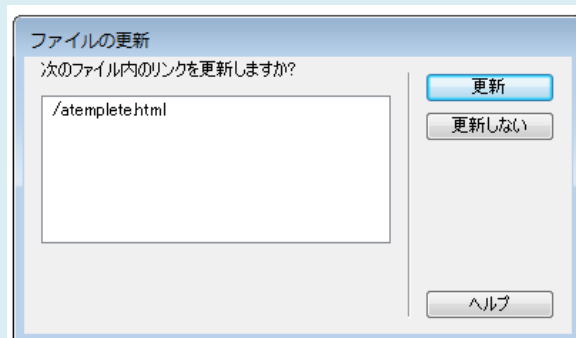


ローカルビュー

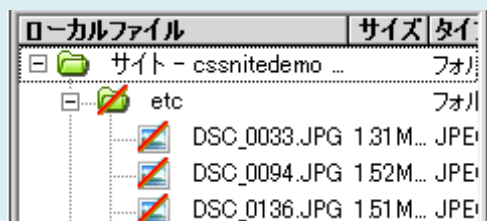


リモートビュー

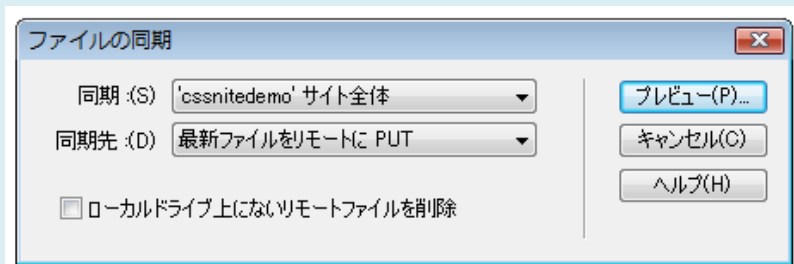
- ◇ ファイルの移動やコンテキストメニューからの名前の変更を行った場合、[ファイルの更新]ダイアログが表示され、サイト内の全ファイルのソースコード中でファイルパス情報が書き換えられる



- ◇ コンテキストメニューの[クローク]-[クローク実行]メニューでフォルダやファイル単位でクロークを設定できる



- ◇ [サイト]-[サイト全体の同期]メニューからローカルとリモートのファイルの同期を行うことができる

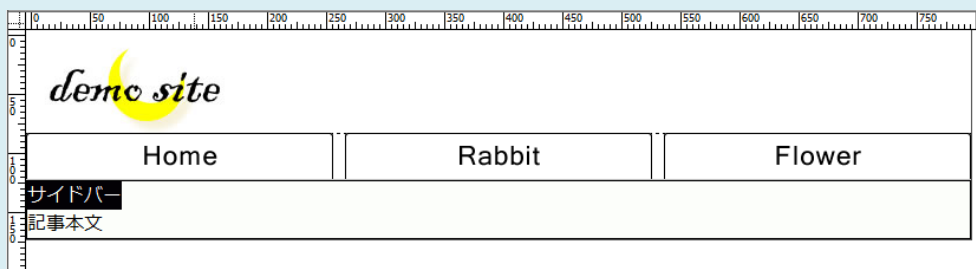


▼CSS レイアウト

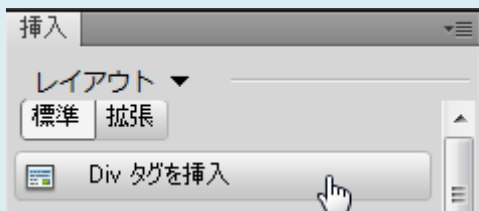
DW では、<div> に CSS を適応してレイアウトを行う場合に「Div タグ挿入」を使うと便利

▼操作手順

1. ページの<div>で囲みたい範囲を選択する。

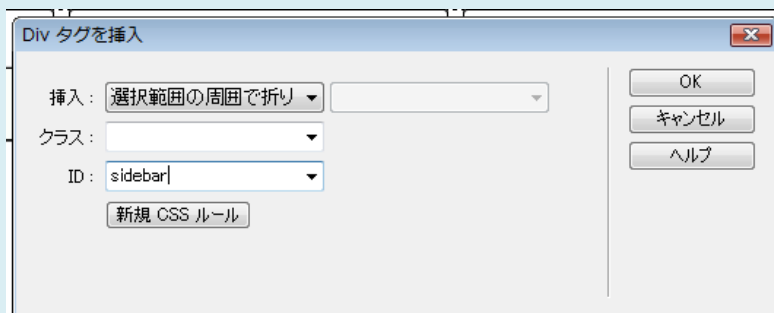


2. 挿入バー[レイアウト]カテゴリの「Div タグを挿入」をクリック

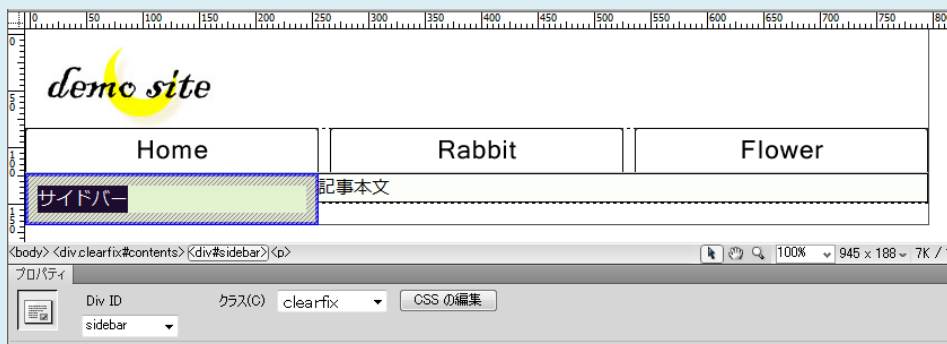


3. 既にセレクトタを作成しているなら、ダイアログで選択。

※[新規 CSS ルール]ボタンから新規にセレクトタを作成することも可能



4. 選択範囲を囲むように<div>が挿入され、セレクトタが適応されている

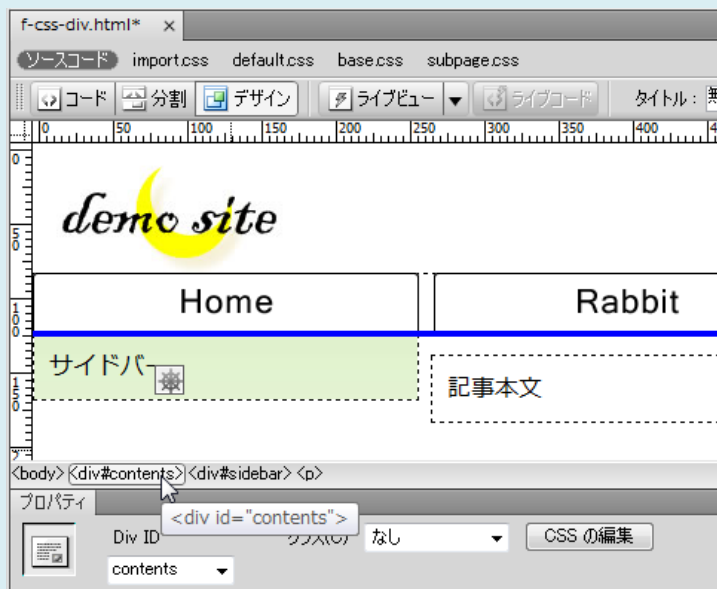


▼CSS (セクタ) の適応

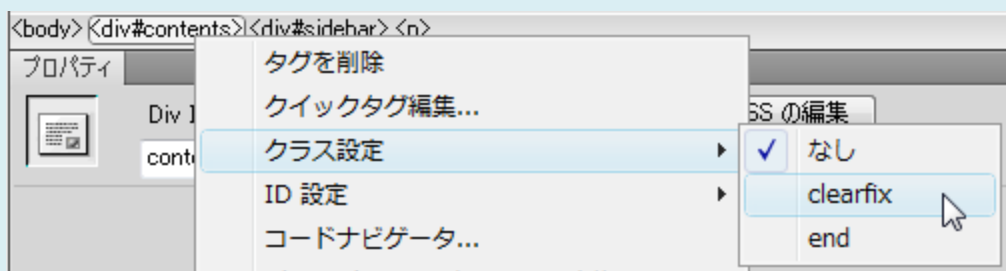
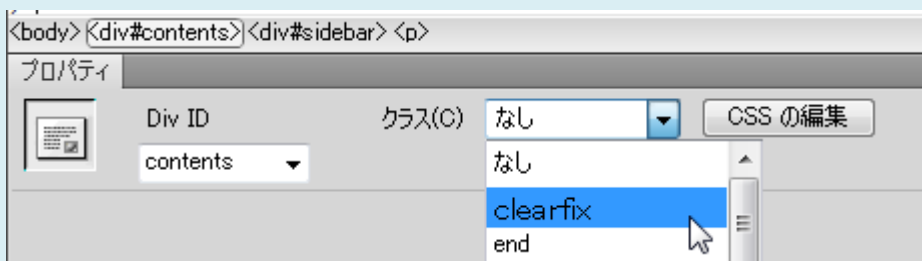
デザインビューのまま、タグにセクタを適応する場合は、[タグセクタ]を使用するのが確実です。

▼操作手順

1. カーソルを付近に移動し、[タグセクタ]で該当タグを選択します。



2. プロパティでセクタを指定する方法と、[タグセクタ]のタグのコンテキストメニューから指定する方法があります。

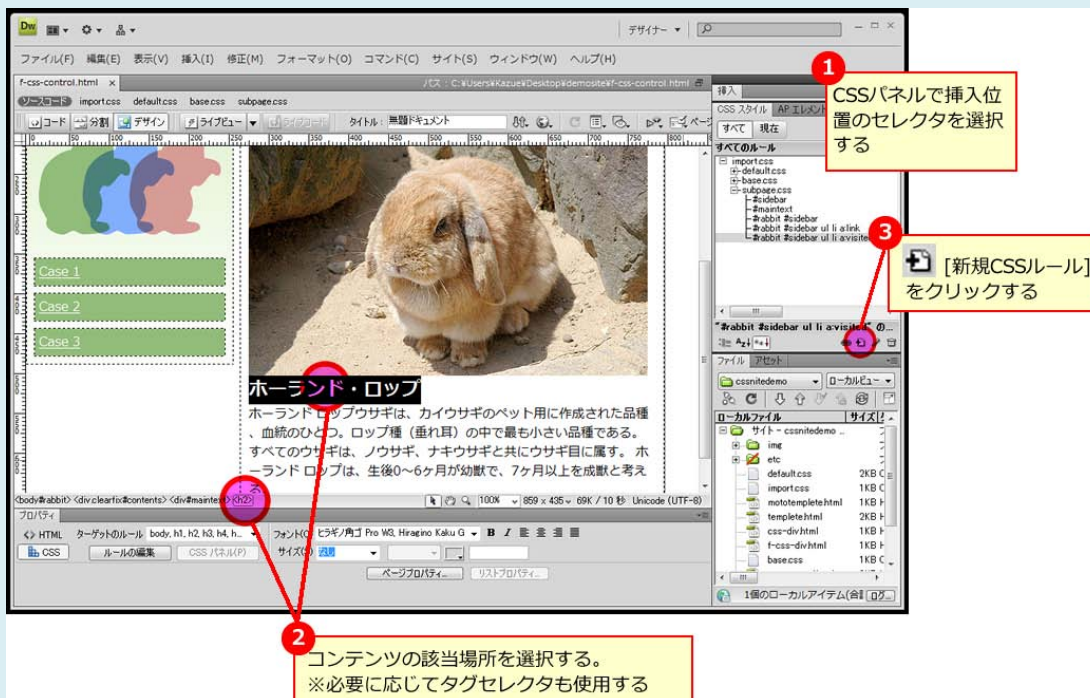


▼CSS コードの管理

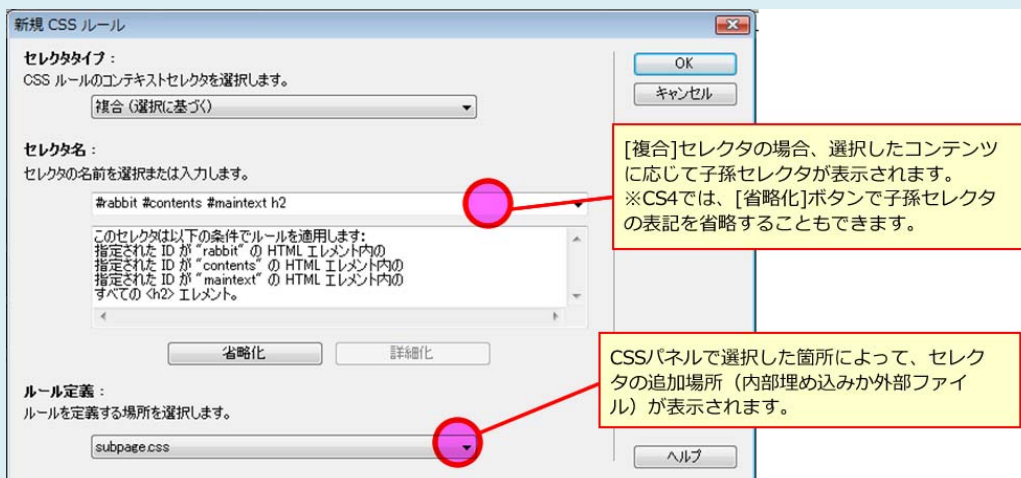
複数の外部ファイルにあるセクタを管理するには[CSS パネル][プロパティ][コードナビゲーター]など幾つかのツールがあります。

▼セクタを作成する

1. 以下の方法で操作を行います。



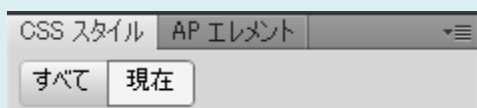
2. [新規 CSS ルール]ダイアログで「セクタタイプ・セクタ名・定義場所」を設定します。



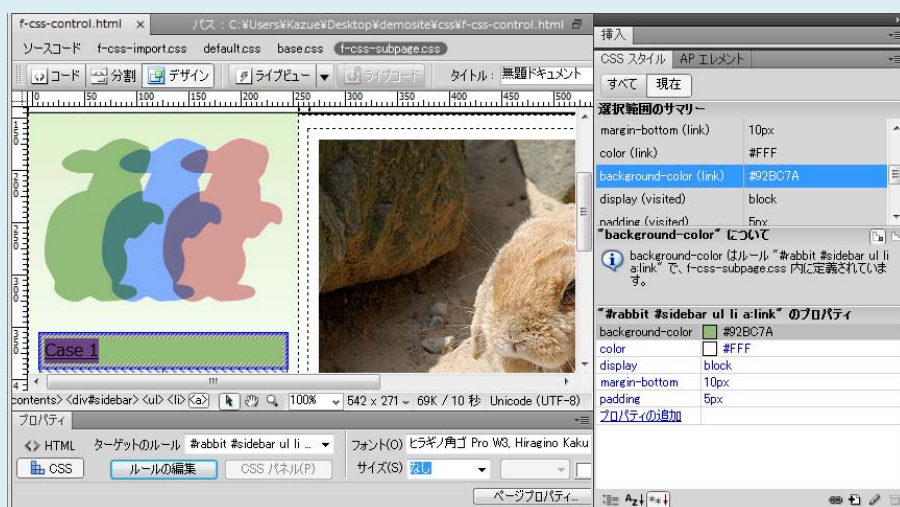
3. [ルール定義]画面で必要なプロパティを指定します。

▼CSS パネル[現在]モードで CSS を修正する

1. CSS パネルの[現在]をクリックします。

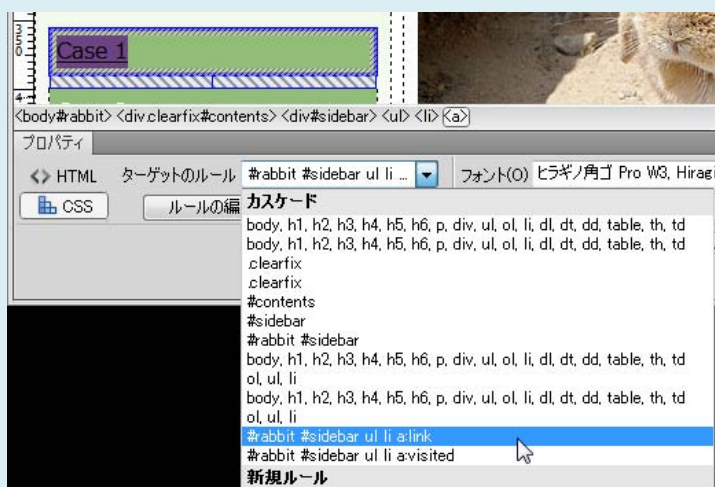


2. コンテンツの該当場所を選択し、CSS パネルの[選択範囲のサマリー]から必要なプロパティを修正します。



▼プロパティでセレクタを探し、CSS を修正する [CS4 のみ]

1. コンテンツの該当場所を選択し、プロパティの[ターゲットのルール]のリストから該当セレクタを選択します。

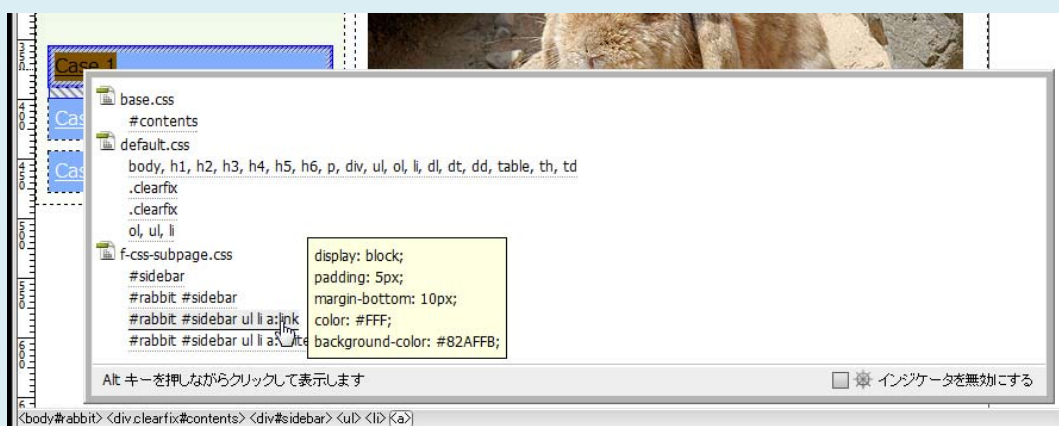


2. プロパティの[ルール編集]をクリックし、[CSS ルール定義]ダイアログで変更を行います。

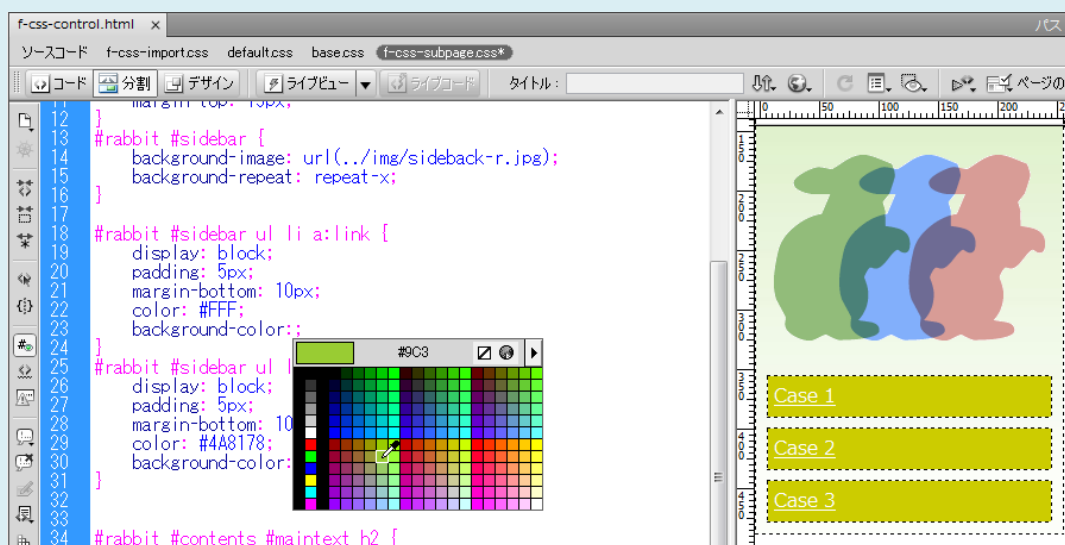
▼コードナビゲーターでセレクトタのソースを探し、CSS を修正する [CS4 のみ]

CSS をソースコードで編集する場合にはコードナビゲーターを使用すると便利です。

1. コンテンツの該当箇所を[ALT]キー(Windows)または Command + Option (Macintosh)を押しながらクリックします。[コードナビゲータ]から該当セレクトタを選択します。




2. 該当セレクトタのソースコードが表示されます。必要に応じて編集します。



▼テンプレートについて

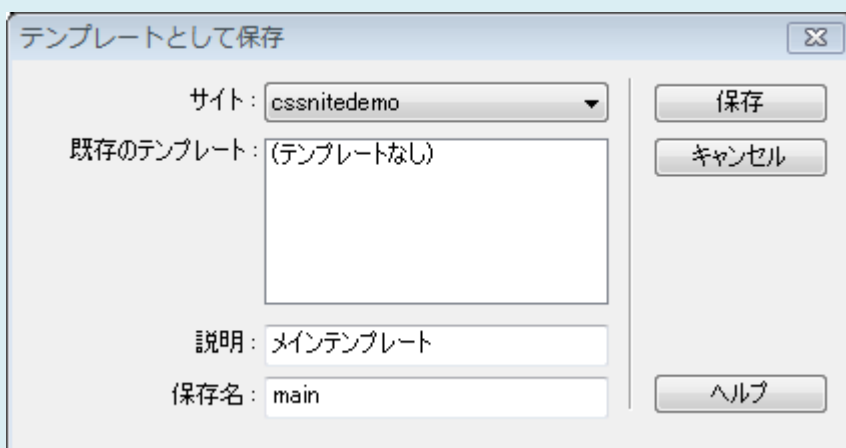
DWでは、「テンプレート」機能を使ってページデザインのひな型・一括管理を行えます。また、テンプレートのネスト(入れ子)を行うことで階層の深いサイトデザインの管理も対応できます。

▼テンプレートを作成し、テンプレートを使って新規ファイルを作成する

1. テンプレートに変換するHTMLページを開き、挿入バー[一般]カテゴリの  テンプレートの作成 をクリックします。



2. [テンプレートとして保存]ダイアログで、[保存名](ファイル名の指定。保存後、ファイルは Template フォルダ内に拡張子 dwt で保存される。)と[説明]を指定し、保存します。

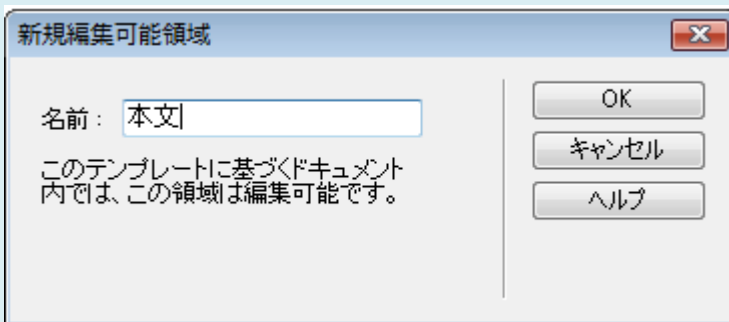


3. 「リンクを更新しますか？」では[はい]をクリックします。

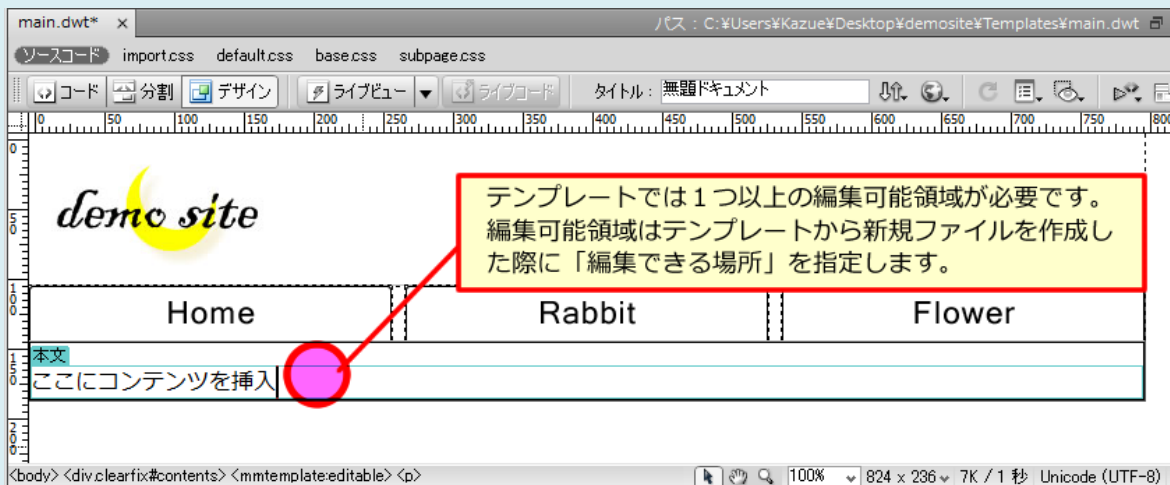
4. ページ内で編集許可を与える部分のコンテンツを選択し、挿入バー[一般]カテゴリの **編集可能領域** をクリックします。



5. [新規編集可能領域]ダイアログで編集可能領域の[名前]を入力します。



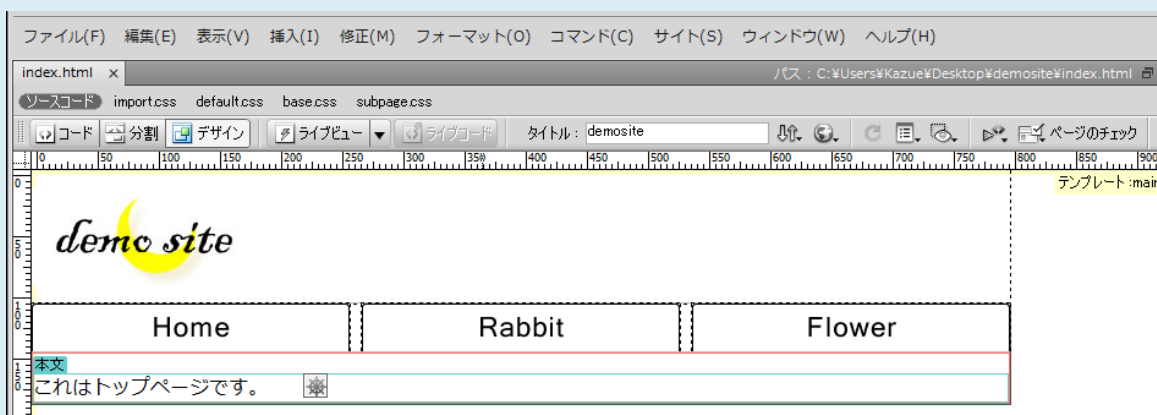
6. テンプレートが作成されました。テンプレートファイルを保存して閉じます。



7. [ファイル]-[新規]メニューを実行します。以下のようにダイアログを指定し、テンプレートを選択します。[作成]をクリックします。




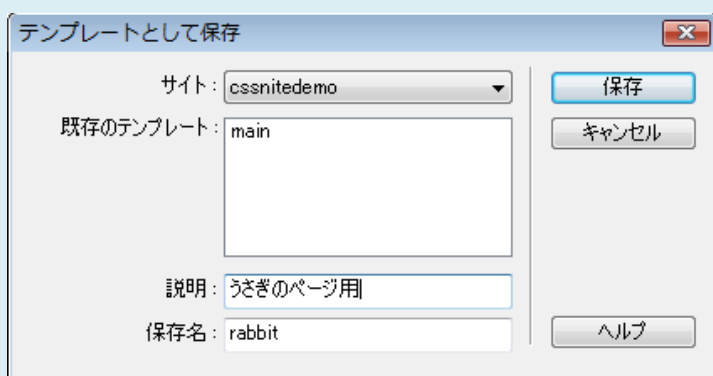
8. 新規ページが作成されました。編集可能領域以外は変更ができない状態になっています。編集可能領域[本文]にコンテンツを入力し、ページタイトルを入力して保存します。




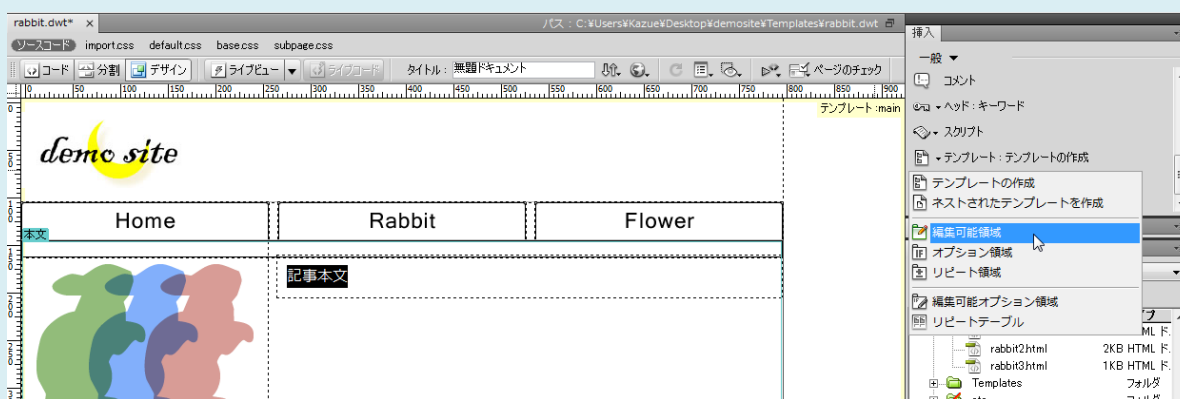
▼テンプレートのネスト

テンプレートから新たにテンプレートを作成することでテンプレートのネストを行えます。ネストされたテンプレートでは元テンプレートの編集可能領域を維持しつつ、新たにネストされたテンプレートだけの編集可能領域を持つことが可能です。

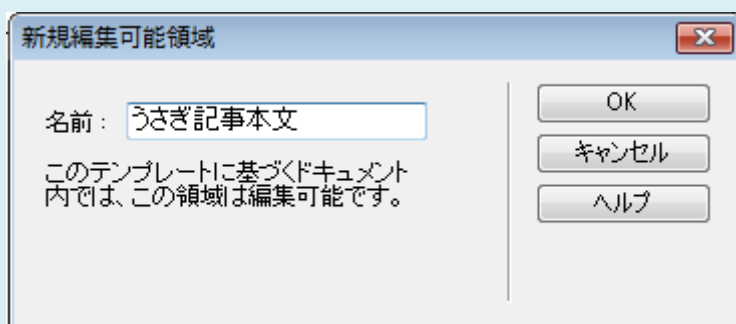
1. [ファイル]-[新規]メニューを実行し、テンプレートを使って新規ページを作成します。
2. 挿入バー[一般]カテゴリの  **テンプレートの作成** をクリックし、新しいテンプレートファイルとして保存します。



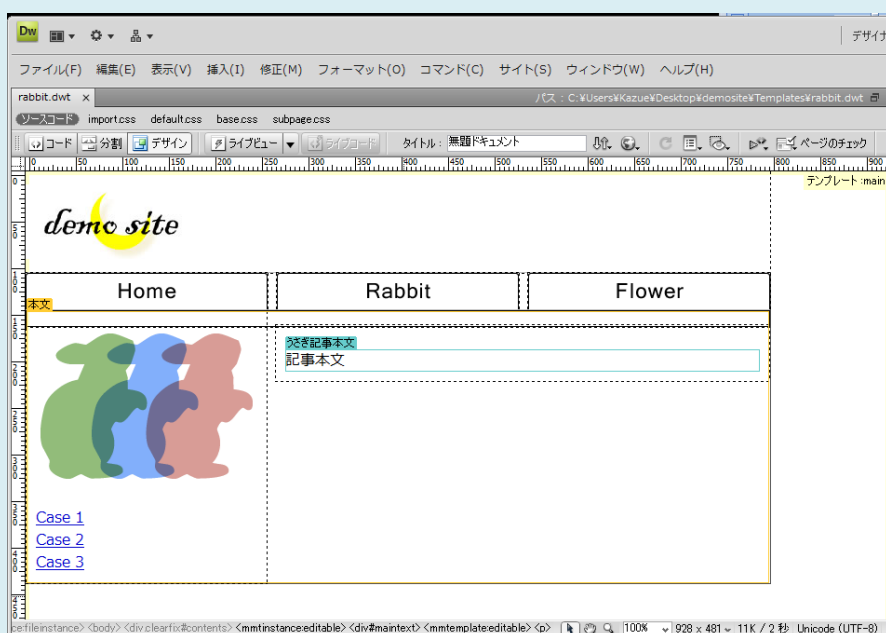
3. 元テンプレートの編集可能領域「本文」内に必要なコンテンツを追加します。
4. 元テンプレートの編集可能領域「本文」内で編集許可を与える部分のコンテンツを選択し、挿入バー[一般]カテゴリの  **編集可能領域** をクリックします。



5. [新規編集可能領域]ダイアログで編集可能領域の[名前]を入力します。

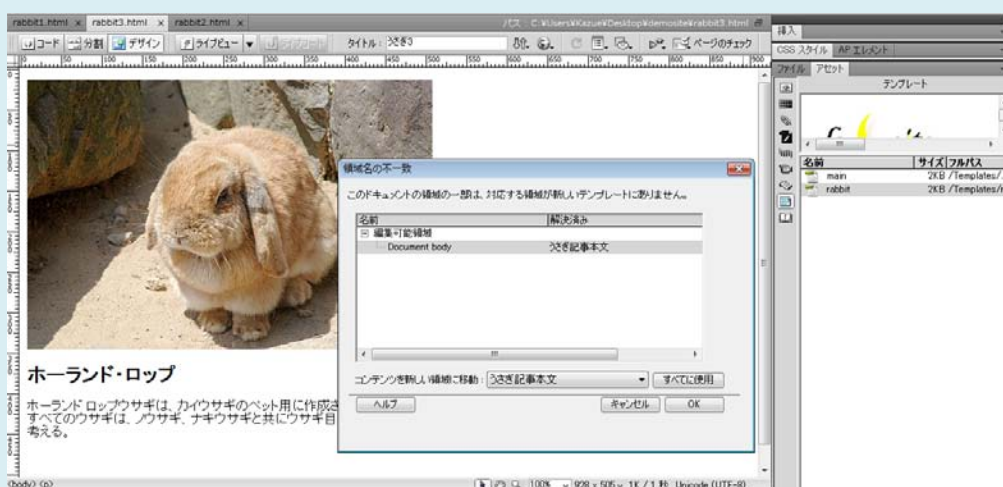


6. 元テンプレート「main.dwt」からネストされた新しいテンプレートが作成されました。



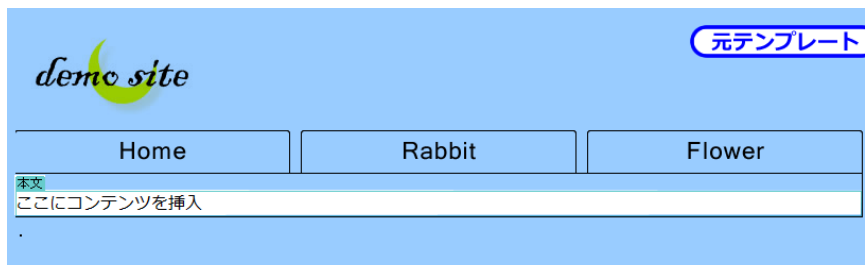
7. 新しいテンプレートを適応したファイルを作成します。

※下記では既存ファイルにアセットパネルからテンプレートを適応しています。

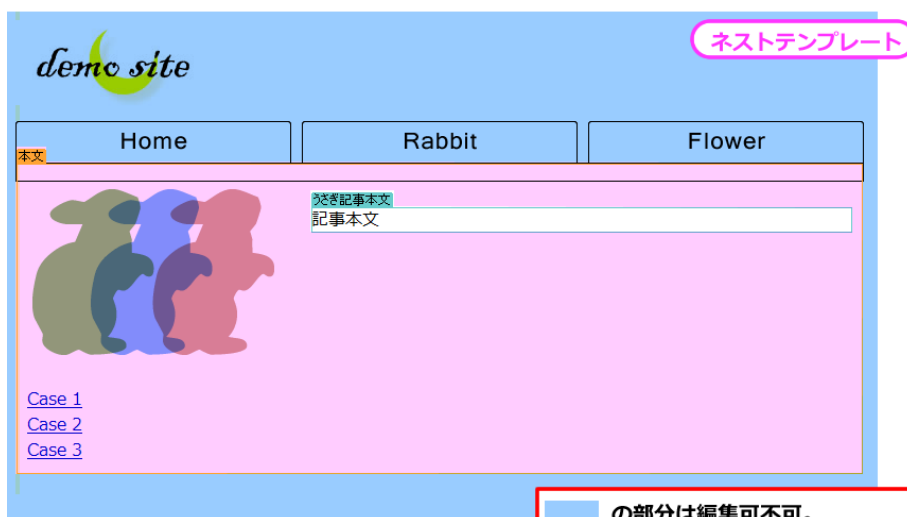


▼テンプレートの編集

今回の場合は、元テンプレートとネストテンプレートそれぞれで管理している編集可能領域が異なります。



この部分は編集不可。
ソースは元テンプレート側で共通管理されている。



この部分は編集不可。
ソースは元テンプレート側で共通管理されている。

この部分は編集不可。
ソースはネストテンプレート側で共通管理されている。

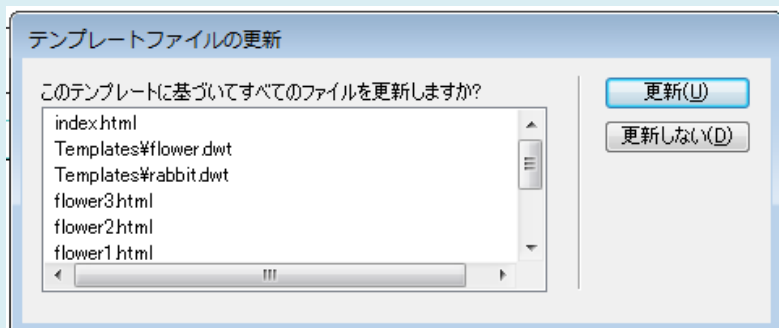
▼元テンプレートの編集

1. 元テンプレートを開き、元テンプレートで管理している部分の編集を行います。

※今回はリンクボタンの配置変更とリンク先の設定を行っています。

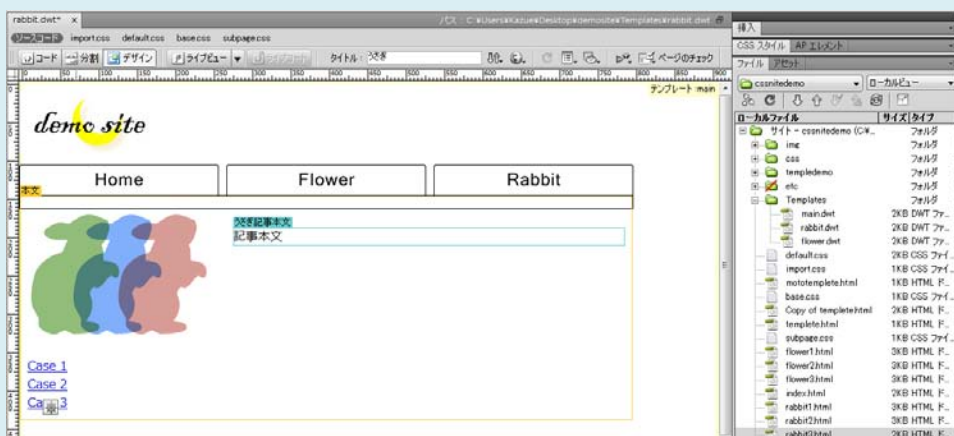


- 元テンプレートを保存します。以下のダイアログが表示されます。[更新]をクリックすると今回はすべてのファイルの元テンプレートにあたるため、ネストテンプレートを含み全ファイルの更新が行われます。

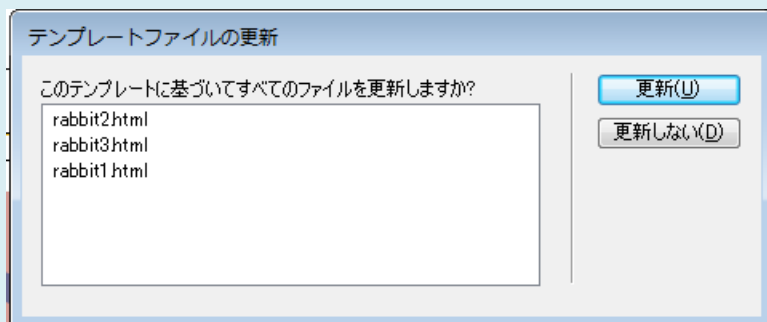


▼ネストテンプレートの編集

- ネストテンプレートを開き、ネストテンプレートで管理している部分の編集を行います。
※今回は左ナビゲーションのリンク指定を行っています。



- ネストテンプレートを保存します。以下のダイアログが表示されます。[更新]をクリックするとネストテンプレートとネストテンプレートが適応されているページの更新が行われます。

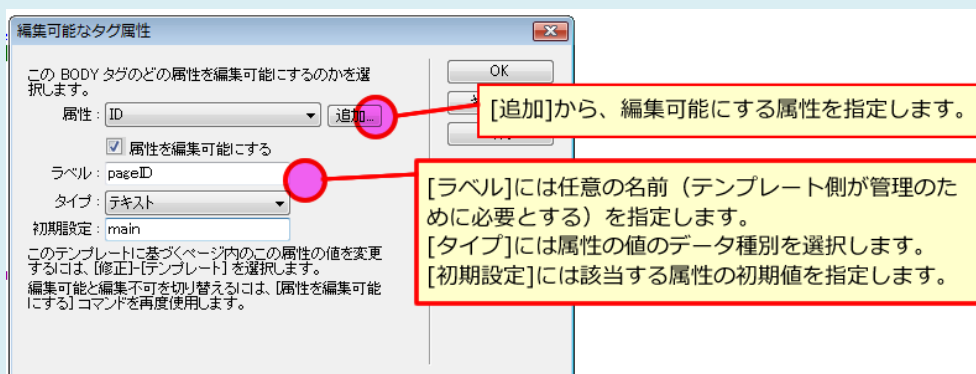


▼編集可能なタグ属性

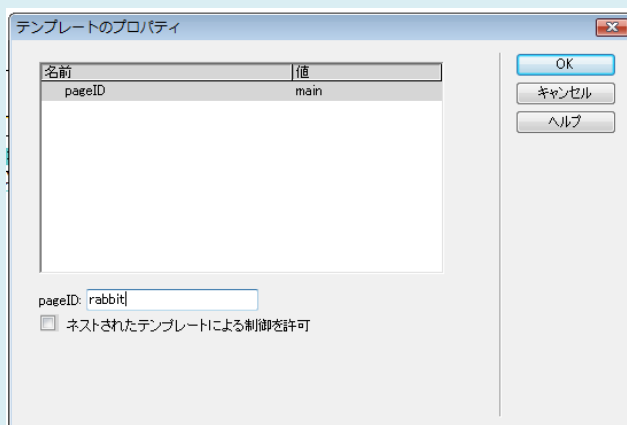
編集不可の領域のソースコードにある特定のタグの属性を編集可能に指定することができます。今回は、この機能を<body>タグに適用のするセレクタのスイッチャーとして使用します。

▼操作手順

1. 元テンプレートを開き、<body>タグを選択します。[修正]-[テンプレート]-[属性を変更可能にする]メニューを実行します。
2. 以下のダイアログを指定します。※今回は編集する属性を「id」属性とします。



3. 元テンプレートを保存し、関連ファイルを更新します。
4. ネストテンプレートを開き、[修正]-[テンプレートプロパティ]メニューを実行します。PageID に<body>タグの id の属性に指定する値を入力します。



5. ソースコードの<body>を確認すると id 属性の値が変更されています。元テンプレートを保存すると関連ファイルすべてに適用されます。